

メキシコだより 1月号

川田 佑樹

こちらメキシコでも 2019 年を迎えて、留学生活も残すところ半年となってきました。やはりこちらに来て半年経過したこともありスペイン語力の成長は感じますが、それでもメキシコ人同士の会話を聞いていてまだまだ自分の語学力の欠如を感じる事が多々あるので、これから半年気を引き締めて頑張っていきたいと思います。今月はオアハカへの旅行とメキシコの日常について書きます。

オアハカ



1 月の前半にメキシコシティから南に位置するオアハカへ旅行しました。オアハカは先住民系の人口比率が高いこともあり、町の至るところで昔から伝わる手工芸品の物売りが多くいました。また、オアハカ

は手工芸品のみならず料理がとても有名です。例えば、モレと呼ばれる食べ物が有名です。モレはメキシコ版のカレーといっても過言ではない料理で、カカオや香辛料が入っているメキシコではとても人気の料理です。ただ、一概にモレといっても多くの種類があり、ほとんどチョコレートの様な甘さのものからカレーのようにスパイシーなものまでたくさん種類があります。(写真参照)



オアハカにはそのような文化的なものだけではなく、トゥーレの木と呼ばれ

る世界で最も太い木、Hierve el agua と呼ばれる壮大な滝があり、雄大な自然を感じることができました。また、モンテアルバン遺跡と呼ばれるサポテカ文化の遺跡もあり、歴史、文化、自然と多くの観点で楽しめる町でした。

メキシコの日常

メキシコに来て約半年、メキシコ生活にも当然のように慣れてきたなか、感じることもあるためそのことについて書きたいと思います。

日本にいるほとんどの方がメキシコは治安が良くなく危険な国というイメージを抱いているかもしれません。確かにそのような側面はあります。例えば、メトロ、バスで盗難にあう、ここ最近ではメトロに乗った現地の方が誘拐されるといった事例があるなど、日本ほどメキシコは安全な国ではないのは確かです。しかし、危険なところへ行かない、夜中に不用意に一人で外出をしない、公共交通機関を利用する際はバックを前に抱えるなどといった基本的なことをすれば、そのようなことは未然に防ぐことができ、被害にあう人はそのようなことができていない人ばかりです。

一方でメキシコ人の心には感銘を受けました。仕事をしている人たちも楽しそう

にやっており、街中でつたないスペイン語で道を尋ねた際も、丁寧に教えてくれたり、自分が知らないときは他の人に聞き教えてくれるなど、心の温かさを持っています。スペイン語で話をする際にはこっちがゆっくりとつたなく話していても嫌な顔をせずしっかり聞いてくれるなど、とても優しいです。

まだまだ書きたいことはありますが今回はこの辺で失礼いたします。